



自民党 責任政党!! 京都市議員団 ニュース 号外

令和5年(2023)3月15日発行

■発行人/橋村 芳和
■編集委員/森田 守

T604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
https://jimin-kyoto.jp/



つ だ だい ぞう 津田大三

津田大三の経歴

- 京都市議員(連続5期当選)
 - 京都市会市会運営委員長(現)
 - 京都市議長(第82代)予算・決算委員長 監査委員
 - 自民党府連 財務局長(現)、青年局長、自民党市議員団長など歴任
 - PTA会長、体育振興会副会長(現)、消防団班長(現)などの地域活動
 - 昭和44年6月28日 中京区生まれ(53歳)
- 妻と4人の子ども(3男1女)の6人家族

大丈夫です! 自民党がやります!!

●子ども医療費の拡充

府市協調により実現。知事に自民党府議団と強力に要請。
市長・知事の英断により、小学校6年生まで拡充が決定。

●コロナ対策・物価高騰対策

国の臨時交付金を原資に対応。地元国会議員をはじめ大臣などに
交付金の増額の要請。京都市に制度設計・充実を提案し実現。

●地下鉄運賃値上げの回避

国に対し、交通事業者の長期借入制度の延長を強く要望。
交通局の長期計画見直しを可能にし値上げの回避を実現。

京都市財政の 再建に道筋!!

令和5年度の予算案が提出され、京都市財政が
大きく改善し、様々なメディアで大きく報道さ
れました。ここに至るまでの京都市行政の努
力は認めるものの、自民党市議員団の力なくして、このことは成し得なかつたと自負
しています。そして何より、市民の皆様のご理解とご協力が、大きな力となっています。
ようやく目途がついた財政再建にこれからも自民党市議員団が力強くリードし、京都
の未来を開いて参ります。

市民の皆様のご協力により、課題解決都市の先頭へ!

京都市財政は、長年にわたり
危機的状況が続いていました。
すでに平成13年には財政非常
事態宣言が発出されています。

これは、インフラ整備が遅れた
ことや、他都市に比べて手厚い
福祉施策を続けてきたことに
要因がありました。またその後
も、少子高齢化は加速度的に進
んでおり、その事も財政に大き
な影響を与えてきました。この
事は全国・各都市でも同様で
す。この問題の解決は今後すべ
ての自治体で取り組まなけれ
ばならず、長いスパンで見れば
東京都でさえも、同様の問題が
発生すると言われています。

そこにコロナ禍が降りかか
り、令和2年1月に京都市で初
めてコロナ感染が確認されま
した。その影響は大きく、世界
規模で様々な混乱をきたし、京
都に來られる観光のお客様は、
ほぼ0となりました。京都市民
の年間の消費額は約2兆円で

あり、その50%を超える観光消
費額(1兆円強)に大きく依存
してきた京都経済に大打撃を
与えました。

令和2年8月に門川市長が
「このまま何もしなければ、財
政破綻しかねない」と発言さ
れ、全国的に京都市財政が厳し
いと報道されました。この状
況下で、行財政改革が断行され
る事となりました。これは、全
てをゼロベースで見直す事で、こ
れまで積み上げてきた施策や
制度に対し、本来の趣旨から外
れていないか、現状のまま本
当に効果があるのか。他のやり
方はないのか、など様々な議論
を重ね、必要な人にはしっかり
届けること、だれが負担をする
のがより良いのか、その制度は
今後持続可能なのかなどの視
点で検証し、行財政改革計画を
立てさせてきました。

この間自民党市議員団は、
京都市行政からの様々な提案



国に対して直接強く要望

を厳しく査定してきました。
また、府市協調で施策を進め
る方が、市民の為になること
は、知事や自民党府議団との
連携のもと、強力に推進して
きました。国に対しても、与党
として所属の国会議員や大臣
などに協力を依頼し、また、直
接各省庁に出向き陳情活動な
ども行ってきました。これら
の結果、財政再建への道筋が
見えてきました。しかし、これ
で安心できる訳ではありません。
ん。ようやく財政再建への道
が緒に就いたばかりの計画を、
しっかり機能させるために、
行財政改革計画を条例で位置
付けることを自民党が提案し、
今議会に提出されています。
自民党市議員団は、市民
に最も多くの信託を受けた市
会最大党派として、結果にこ
だわり、活動を進めて参りま
した。過去にも、現在にも、未
来にも、政策でしっかりと責任
のある政治を引き続き進めて
参ります。

政策で、国・府・市連携で市民を守る。

皆様のご意見をお聞かせください。